

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎看護学実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	夜久泰子	実務経験とその関連資格	大阪市立病院勤務(約20年) 看護学修士		
《授業科目における学習内容》					
対象を身体的・心理的・社会的側面から捉え、看護過程が展開できる基礎的機能を養う。					
《成績評価の方法と基準》					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
事前学習、課題学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。					
実習プログラム					
実習期間 時間数	2022年1月31日～2022年2月18日 合計90時間				
実習の目的	健康障害を持ち、入院生活を送る対象者を身体的・精神的・社会的側面から説明できる。 看護過程を用いて、対象の日常生活援助が実施できる。 対象者及び対象に関わる医療従事者と人間関係を構築することができる。				
実習の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1)対象の発達段階と発達段階の特徴を知る。 2)対象の持つ健康障害を知る。 3)対象の入院生活の過ごし方について情報収集する。 4)ニーズが阻害されていると感じる状況からアセスメントを行い、対象を身体的・精神的・社会的側面から理解する。 5)健康障害が生活に及ぼす影響に着眼し、看護上の問題を1つ以上、抽出する。 6)達成可能な目標をあげる。 7)対象の状況に合わせた具体的な看護計画を立案する。 8)看護計画に沿って日常生活援助を実施する。 9)援助の結果をふまえ、看護計画の評価・修正をする。 10)対象を尊重した言葉使い・態度で接する。 11)報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切に行う。 				